

令和2年度

災害公営住宅入居者 健康調査報告書



宮城県保健福祉部健康推進課

目 次

(ページ)

I 調査の概要	1
II 結果の概要	
1 世帯の状況	2
2 調査対象者の属性	3
3 健診の受診状況	5
4 疾病の状況	6
5 体調	8
6 心の問題	9
7 心の動揺	10
8 不眠の状況	11
9 飲酒の状況	12
10 食欲及び体重変化の状況	13
11 相談相手の有無	14
12 体を動かす機会の変化	15
13 行事への参加状況	16
14 要介護認定の状況	17
15 障害者手帳の有無	17
16 前回に引き続き回答があった方の状況	18
17 令和2年度災害公営住宅入居者健康調査結果（市町別の主な項目）	19
III（参考）調査票様式	20

I 調査の概要

1 調査の目的

応急仮設住宅等から災害公営住宅に入居するに伴って、様々な健康問題の発生が懸念されることから、入居者の健康状況を把握し、要フォロー者を必要な健康支援に結びつけるとともに、施策展開の基礎資料とすることを目的として平成27年度から実施しているもの。

2 実施主体

宮城県及び5市（仙台市、石巻市、塩竈市、岩沼市、東松島市）の共同実施

3 調査対象

上記5市が管理する災害公営住宅の入居者 8,178世帯

4 実施時期

令和2年11月～令和3年2月

5 調査方法

- (1) 配布 郵送又は市町支援員等の戸別訪問
- (2) 回収 郵送

6 調査項目

- (1) 個人属性(氏名, 性別, 生年月日, 続柄, 職業)
- (2) 健康状況(身体的・心理的状況, 身体活動・社会性の状況など)

7 配布・回収状況

- (1) 配布世帯数 8,178世帯
- (2) 回収世帯数 5,051世帯
- (3) 回収率 61.8%
- (4) 調査人数 8,292人

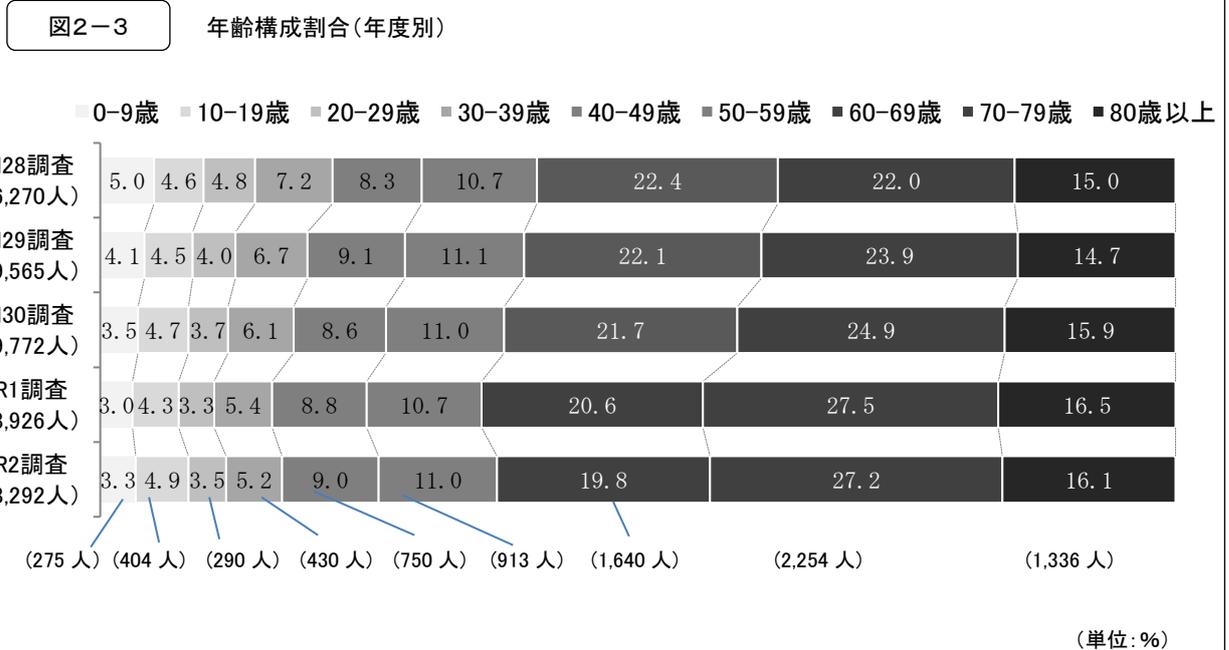
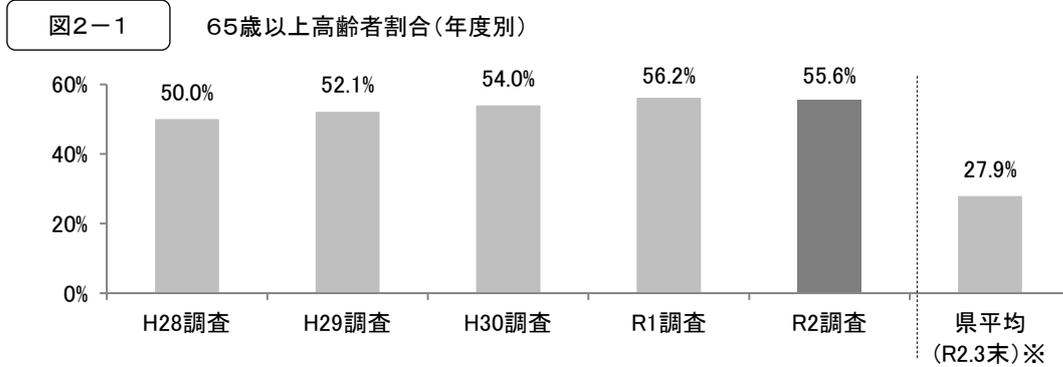
* 調査結果に掲載している数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳合計と総数とが一致しない場合がある。

* 項目ごとに有効回答者数が異なる場合がある。また、各項目の母数(有効回答者数の計)は表中の()内に記載した。

2 調査対象者の属性

(1) 性別・年齢構成

年齢構成では、65歳以上の高齢者の割合は55.6%である。
 なお、県平均の高齢化率は、令和2年3月末現在で27.9%である(高齢者人口調査より)。



※ 宮城県高齢者人口調査(長寿社会政策課)及び宮城県住民基本台帳人口及び世帯数(統計課)より。

2 調査対象者の属性 (つづき)

(2) 職業

職業は、「無職」が 49.7%と最多で、次いで「会社員」が 14.3%となっている。

表2-1 職業(全年齢・複数回答あり)

職業	H28調査 (6,050人)	H29調査 (9,078人)	H30調査 (9,287人)	R1調査 (8,493人)	R2調査	
	割合	割合	割合	割合	割合	人数
会社員	14.0%	15.2%	15.8%	15.6%	14.3%	(1,172)
公務員	0.2%	0.2%	0.3%	0.3%	0.3%	(27)
自営業	2.8%	2.8%	2.6%	2.9%	2.6%	(213)
パート・アルバイト	12.9%	13.8%	13.8%	13.9%	13.9%	(1,141)
農業	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.1%	(9)
漁業	0.7%	1.0%	0.9%	1.1%	1.0%	(80)
主婦	12.4%	12.0%	11.4%	11.9%	8.3%	(680)
学生	6.7%	6.3%	6.3%	5.8%	6.4%	(528)
無職	44.4%	43.8%	44.3%	43.4%	49.7%	(4,069)
その他	5.7%	4.8%	4.5%	4.9%	3.3%	(272)
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	8,191

(3) 無職の理由 (15歳から64歳まで)

「無職」と回答した人のうち、15歳から64歳までの人は701人(21.9%)で、そのうち、「求職中」と回答した人は29.1%、「病気療養中」と回答した人は23.8%である。

図2-4 「無職」の理由(15歳から64歳まで)



図2-5 「求職中」の人の割合(性別、年代別、15歳から64歳まで)

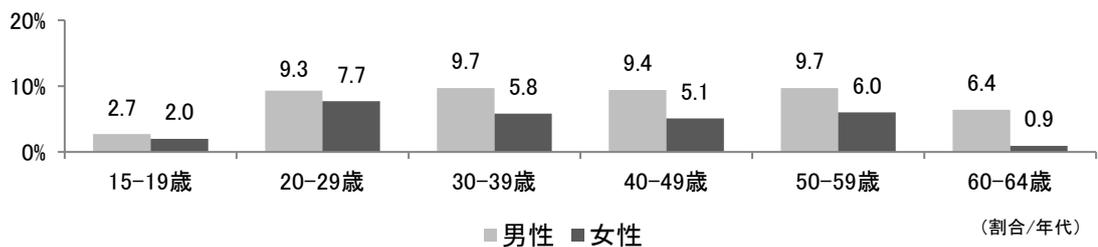
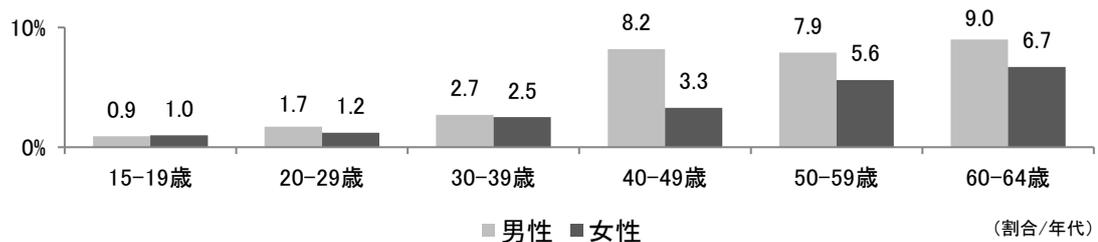


図2-6 「病気療養中」の人の割合(性別、年代別、15歳から64歳まで)



3 健診の受診状況

「最近1年間に健診を受けた」と回答した人は、68.5%である。(0歳から18歳は調査対象外)

図3-1 健診受診の状況(年度別)

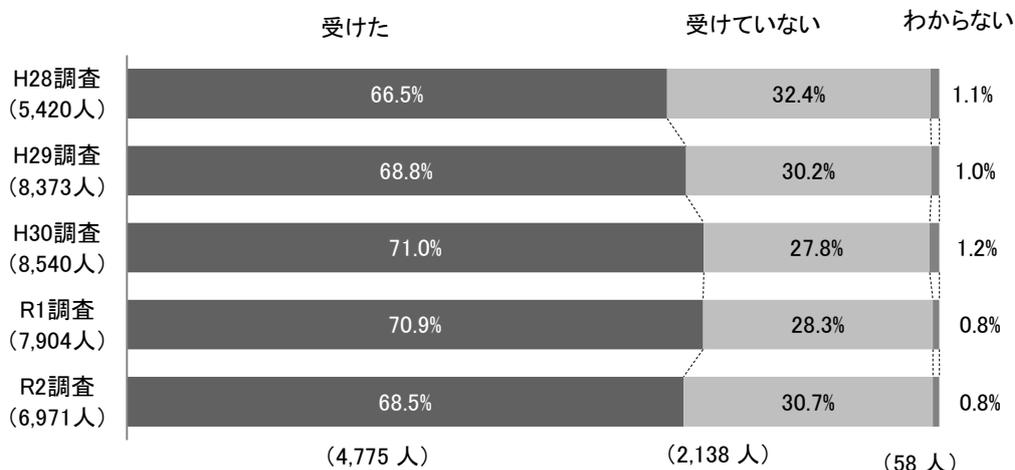
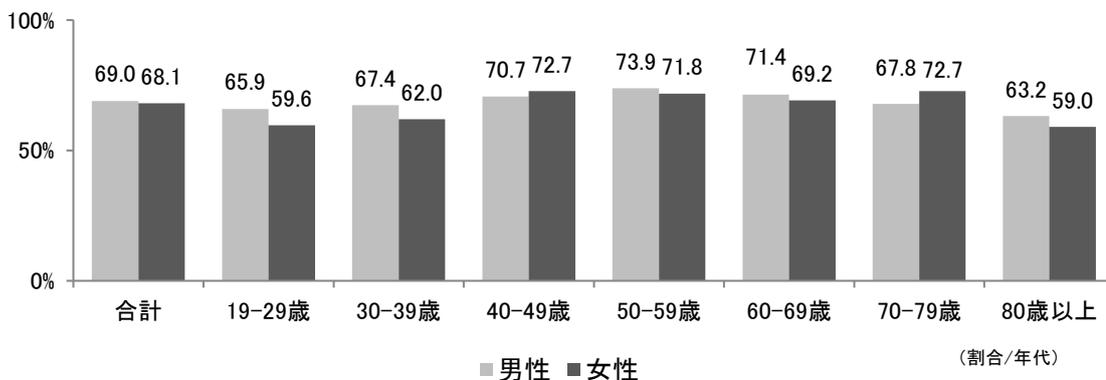


図3-2 「最近1年間に健診を受けた」人の割合(性別, 年代別)



4 疾病の状況

現在、「病気がある」と回答した人の割合は 62.6%である。

図4-1 現在の病気の有無(年度別)

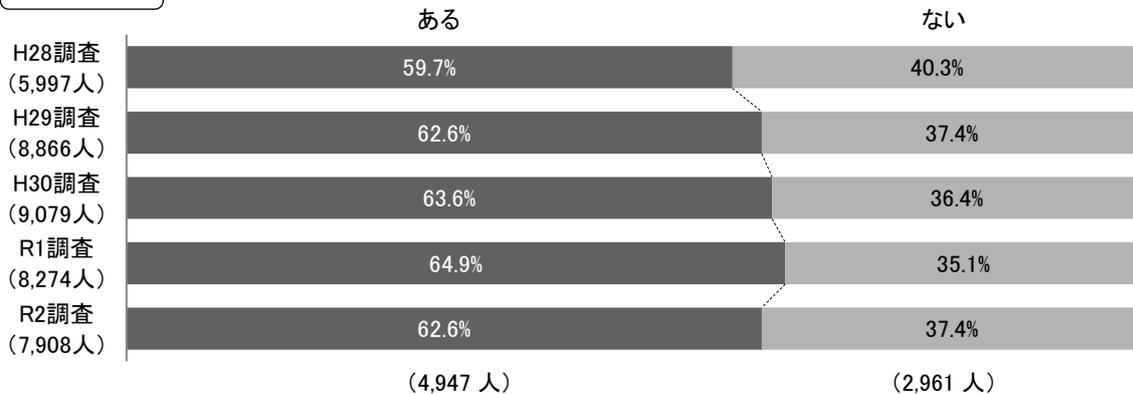
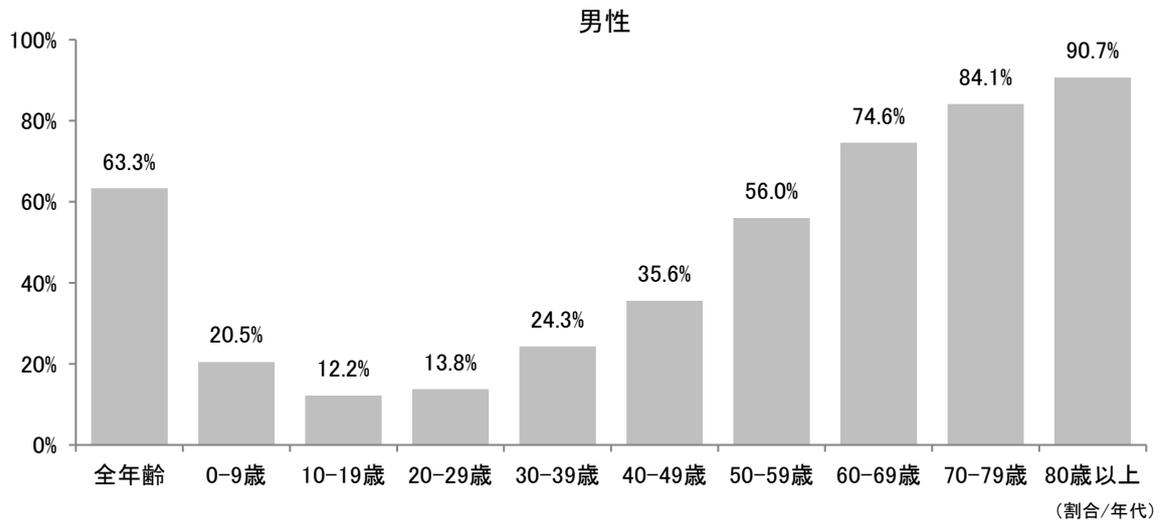
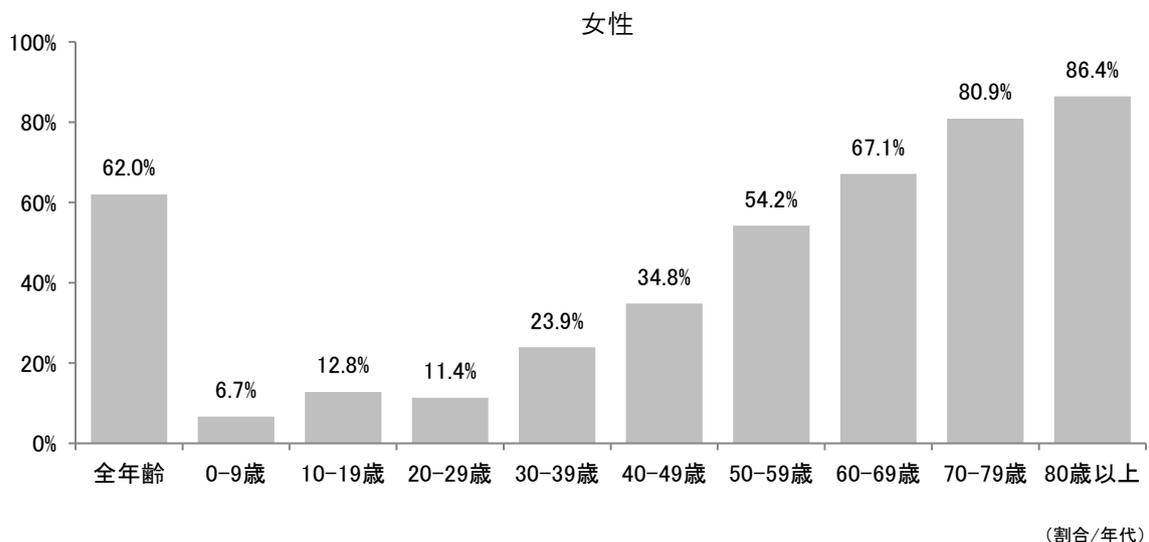


図4-2 「病気がある」人の割合(性別, 年代別)



注)上のグラフは、男性の回答者 3,479 人のうち、「病気がある」と回答した 2,202 人の割合を年代別で示したものの。



注)上のグラフは、女性の回答者 4,429 人のうち、「病気がある」と回答した 2,745 人の割合を年代別で示したものの。

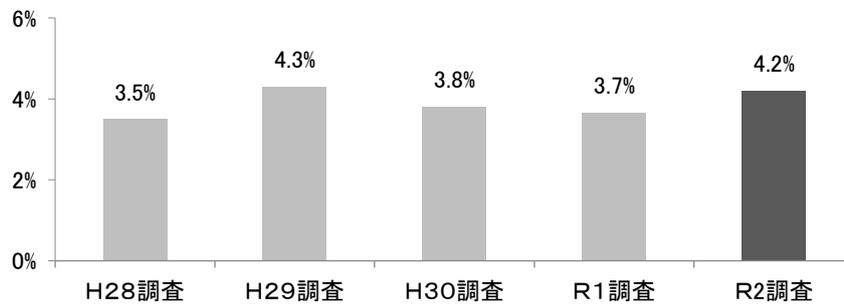
4 疾病の状況(つづき)

病気別では、高血圧(34.4%)が最多で、次いで糖尿病(12.3%)となっている。また、「病気がある」が「治療を中断している」と回答した人は、病気がある人の4.2%である。

表4-1 病気の種類別(複数回答あり)

病名	H28調査 (6,270人)	H29調査 (9,565人)	H30調査 (9,772人)	R1調査 (8,926人)	R2調査 (8,292人)	
	割合	割合	割合	割合	割合	人数
高血圧	30.6%	32.1%	33.7%	34.0%	34.4%	(2,850)
糖尿病	11.4%	11.4%	11.9%	11.7%	12.3%	(1,017)
心疾患	6.4%	6.3%	6.2%	6.1%	6.5%	(540)
がん	5.1%	5.4%	6.0%	6.0%	6.3%	(522)
呼吸器疾患	5.4%	4.9%	4.7%	5.0%	5.9%	(490)
精神疾患	5.0%	5.1%	4.7%	5.0%	4.9%	(409)
脳血管疾患	3.2%	3.1%	3.1%	3.0%	3.5%	(294)
透析	0.8%	0.5%	0.5%	0.6%	0.7%	(57)
その他	19.6%	17.0%	17.4%	17.8%	16.8%	(1,393)

図4-3 「病気がある」が「治療を中断している」人の割合(年度別)



※ 割合は、有効回答数に占める割合。

5 体調

体調が「あまり良くない」、「とても悪い」と回答した人の割合は 21.4%である。高齢者ほど割合が高い。

図5-1 体調の状況(年度別)

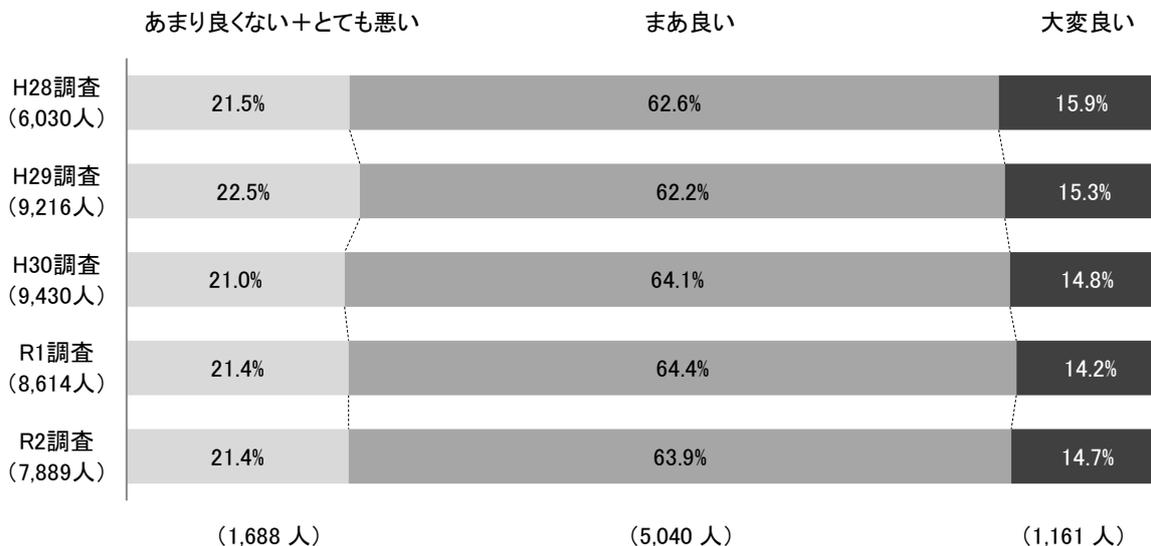
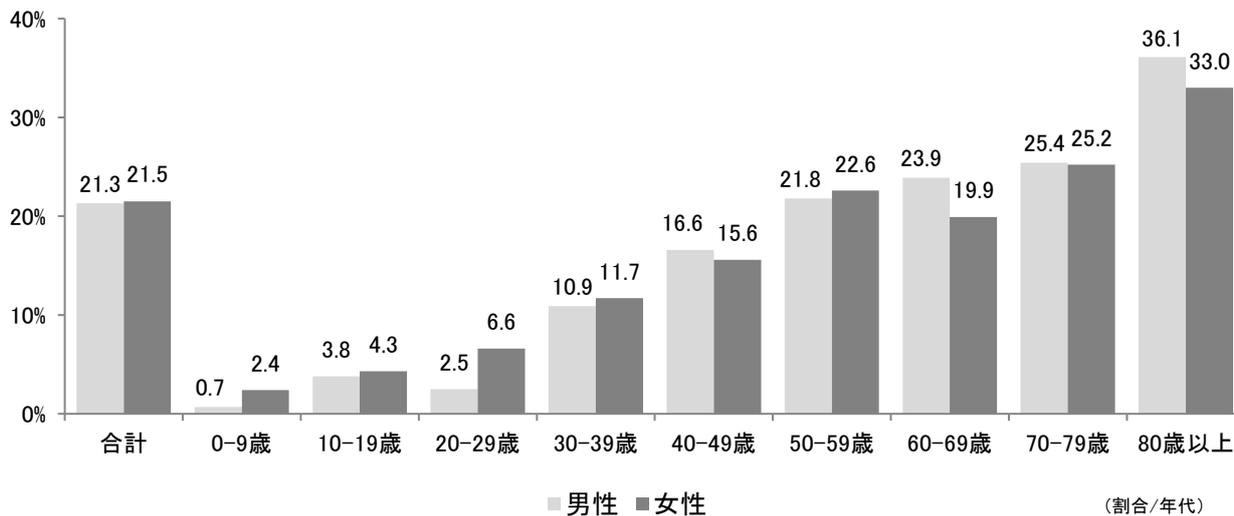


図5-2 「あまり良くない」と「とても悪い」の合計の割合(性別、年代別)



6 心の問題

不安、抑うつ状態の指標であるK6(※)で見ると、「支援が必要な程度の強い心理的苦痛を感じている」とされる13点以上の割合は7.5%である。性別、年齢別では、50歳代の男性で11.1%と高い。

図6-1 心の状況(K6, 対象:18歳以上, 年度別)

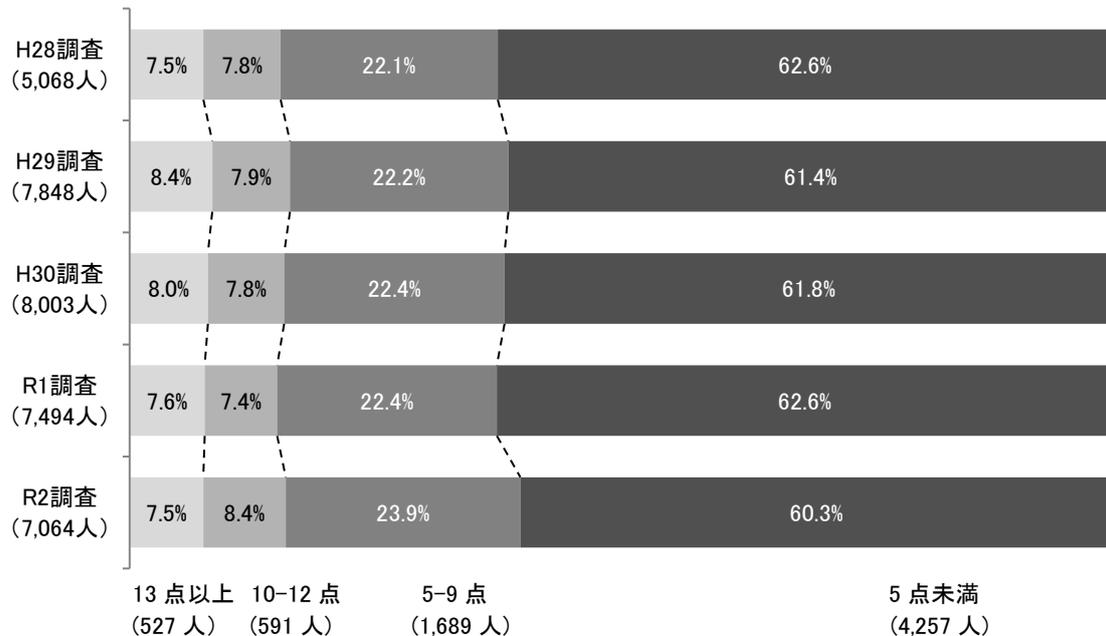
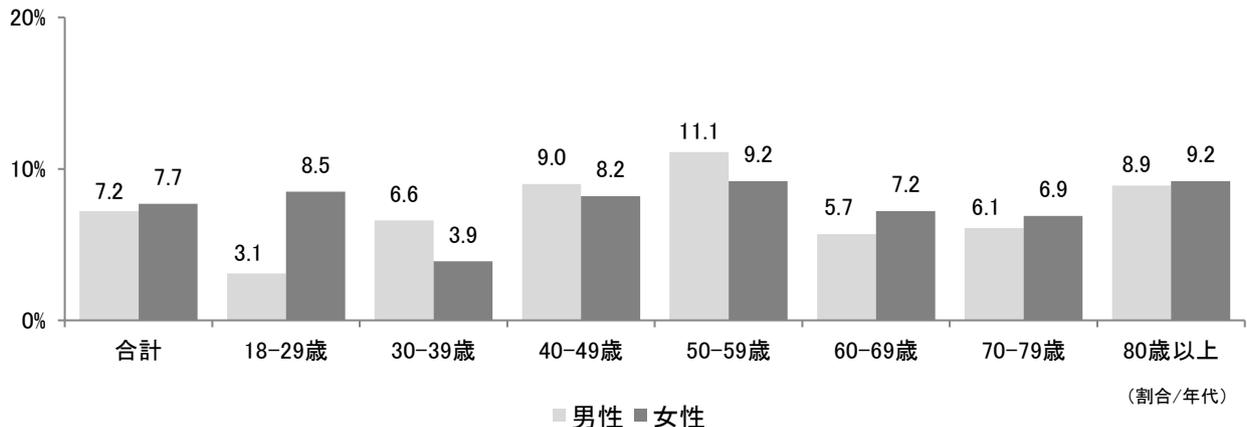


図6-2 K6「13点以上」であった人の割合(性別、年代別)



(注)※ K6(ケーシックス)とは

K6は米国の Kessler らによって、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、一般住民を対象とした調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として広く利用されている。

「神経過敏に感じましたか」「絶望的だと感じましたか」「そろそろ、落ち着かなく感じましたか」「気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか」「何をしても骨折れだと感じましたか」「自分は価値のない人間だと感じましたか」の6つの質問について5段階(「まったくない」(0点)、「少しだけ」(1点)、「ときどき」(2点)、「たいてい」(3点)、「いつも」(4点))で点数化する。合計点数が高いほど、精神的な問題がより重い可能性があるとしてされている。

令和元年に厚生労働省が実施した国民生活基礎調査では、13点以上が4.3%であった(20歳以上。「不詳」を除いて集計)。

7 心の動揺

「災害を思い出して気持ちが動揺することがある」と回答した人の割合は 11.7%である。全体的に女性が高い。

図7-1

「災害を思い出して気持ちが動揺することがある」人の状況(年度別)

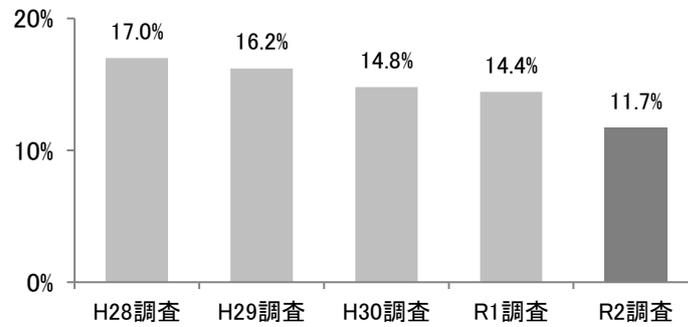
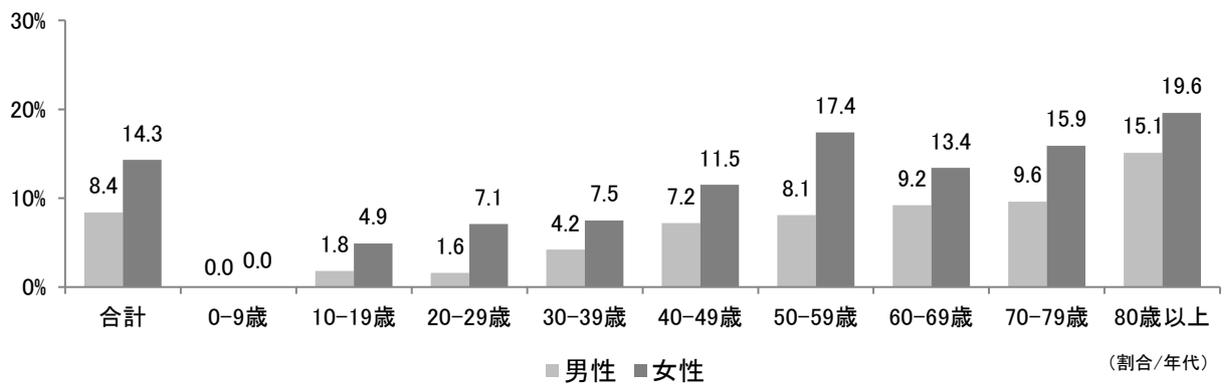


図7-2

「災害を思い出して気持ちが動揺することがある」人の割合(性別, 年齢別)



8 不眠の状況

「眠れない」と回答した人の割合は 15.7%である。男女別では女性が、年齢別では 50 歳代から 80 歳代で高い。

図8-1

「眠れない」人の状況(年度別)

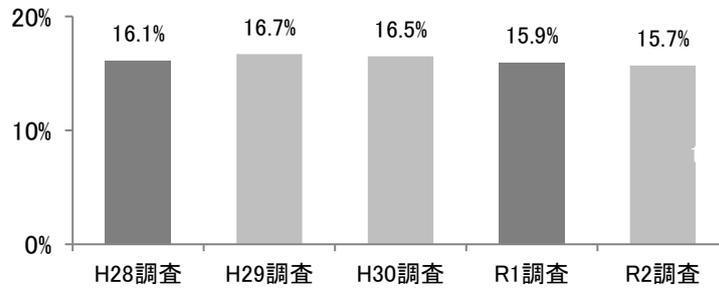
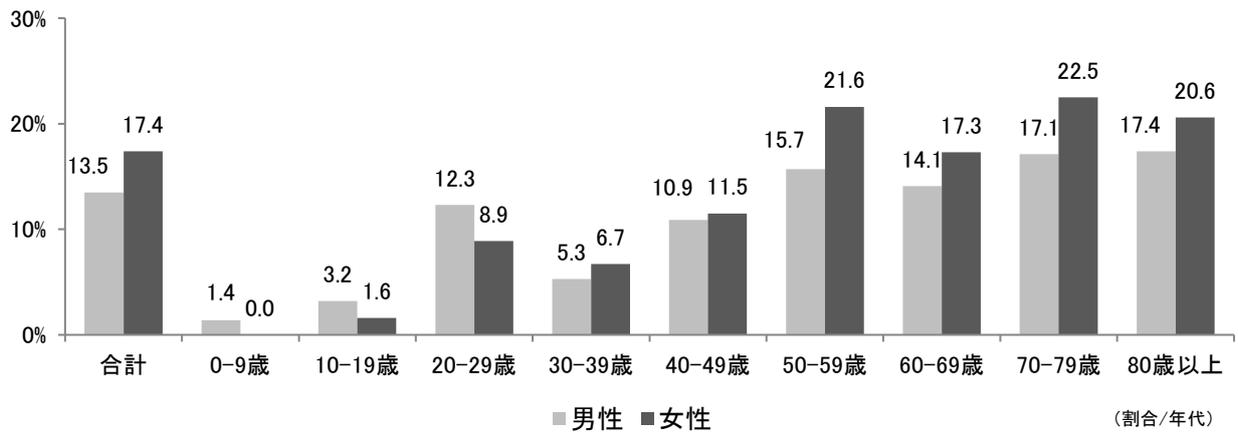


図8-2

「眠れない」人の割合(性別, 年代別)



9 飲酒の状況

(1) 朝又は昼からの飲酒状況

「朝又は昼から飲酒することがある」と回答した人の割合は 2.3%である。全体的に男性の割合が高く、50 歳代男性は 7.8%である。

図9-1 「朝又は昼から飲酒することがある」人の割合(年度別)

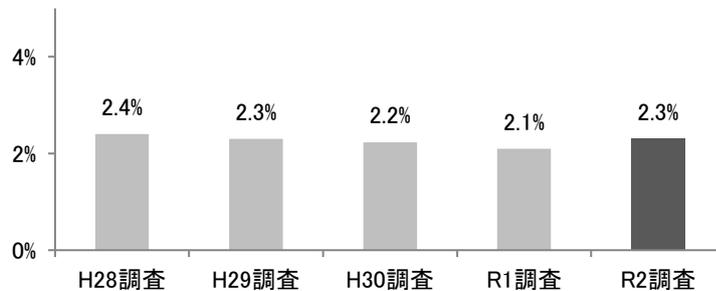
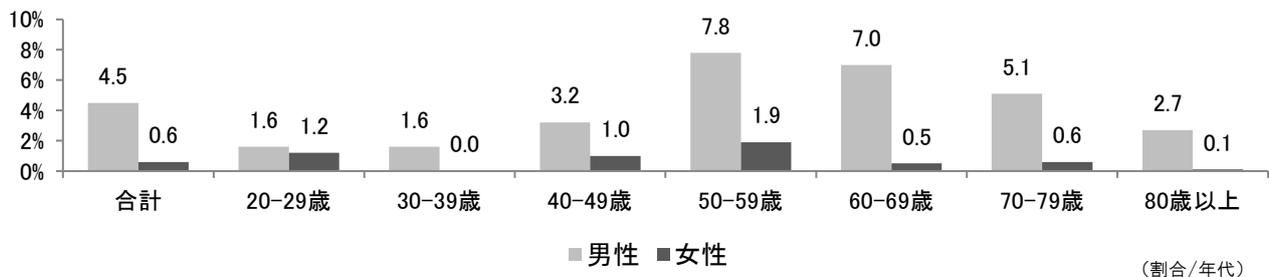


図9-2 「朝又は昼から飲酒することがある」人の割合(性別, 年代別)



(2) 多量飲酒の状況

「週4日以上かつ1日3合以上飲酒する」と回答した人の割合は 6.2%である。全体的に男性の割合が高く、60 歳代男性が 17.2%である。

図9-3 「週4日以上かつ1日3合以上飲酒する」と回答した人の割合(年度別)

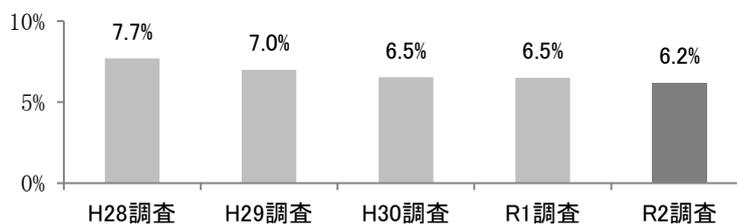
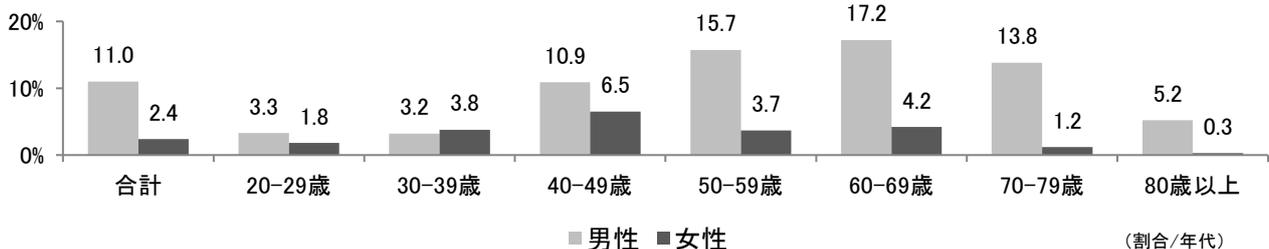


図9-4 「週4日以上かつ1日3合以上飲酒する」と回答した人の割合(性別, 年代別)



10 食欲及び体重変化の状況

「食欲がない」と回答した人の割合は 2.9%である。
 「1年前に比べて体重が減少した」と回答した人の割合は 11.0%である。
 「1年前に比べて体重が増加した」と回答した人の割合は 17.2%である。

図10-1 食欲及び体重変化の状況の割合

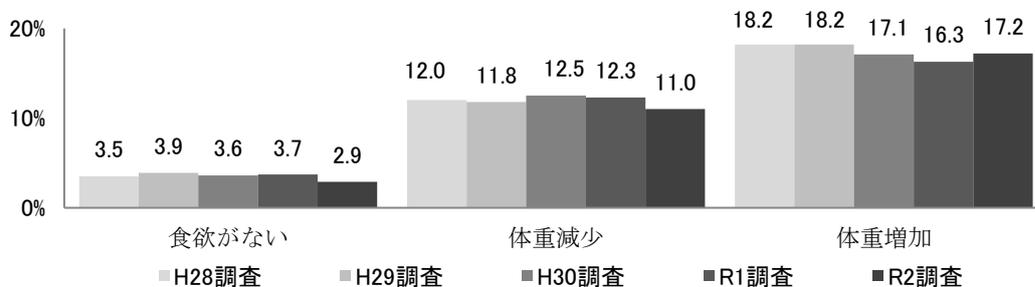


図10-2 「食欲がない」人の割合(性別, 年代別)

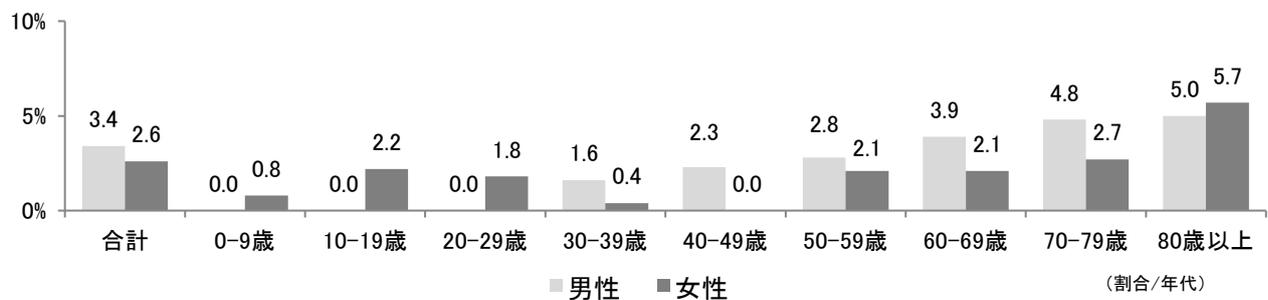


図10-3 「体重が減少した」人の割合(性別, 年代別)

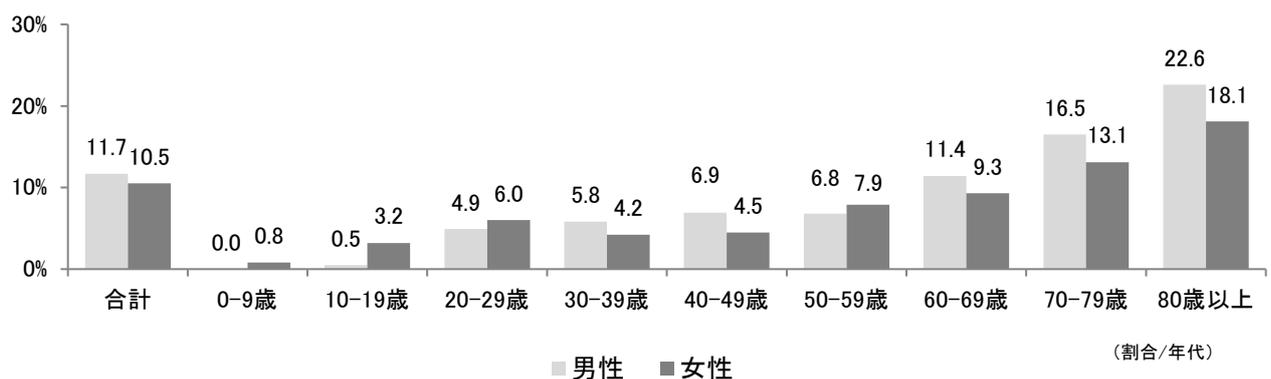
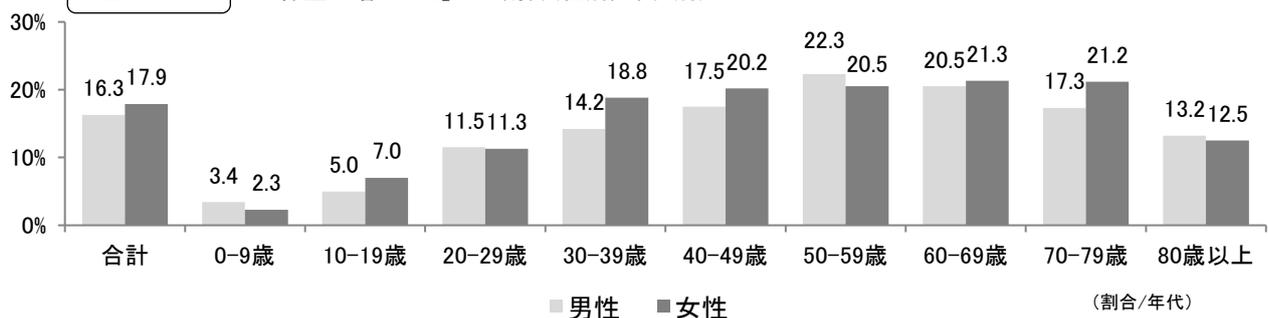


図10-4 「体重が増加した」人の割合(性別, 年代別)



1 1 相談相手の有無

「相談相手がいる」と回答した人の割合は 79.7%である。特に、男性で「相談相手がない」と回答した人の割合が高い。

図11-1 相談相手の有無

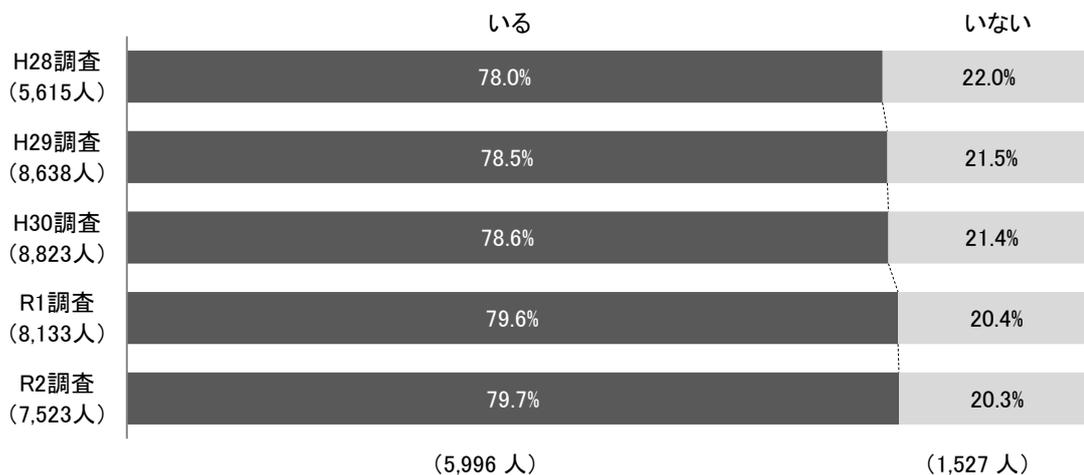
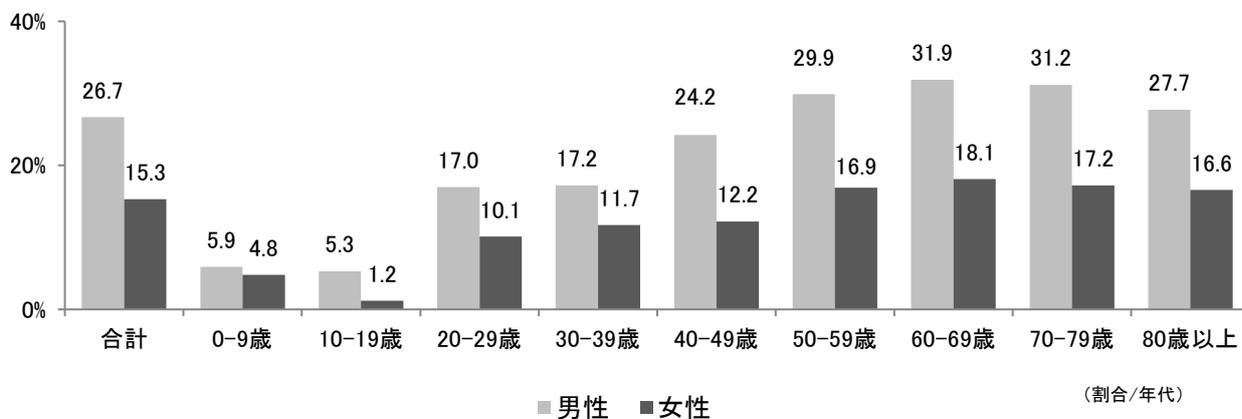


図11-2 「相談相手がない」人の割合(性別, 年代)



1 2 体を動かす機会の変化

転居前に比べて日頃の生活で体を動かす機会が「とても少なくなった」と「少なくなった」と答えた人の割合は43.2%である。

図12-1 体を動かす機会の変化(年度別)

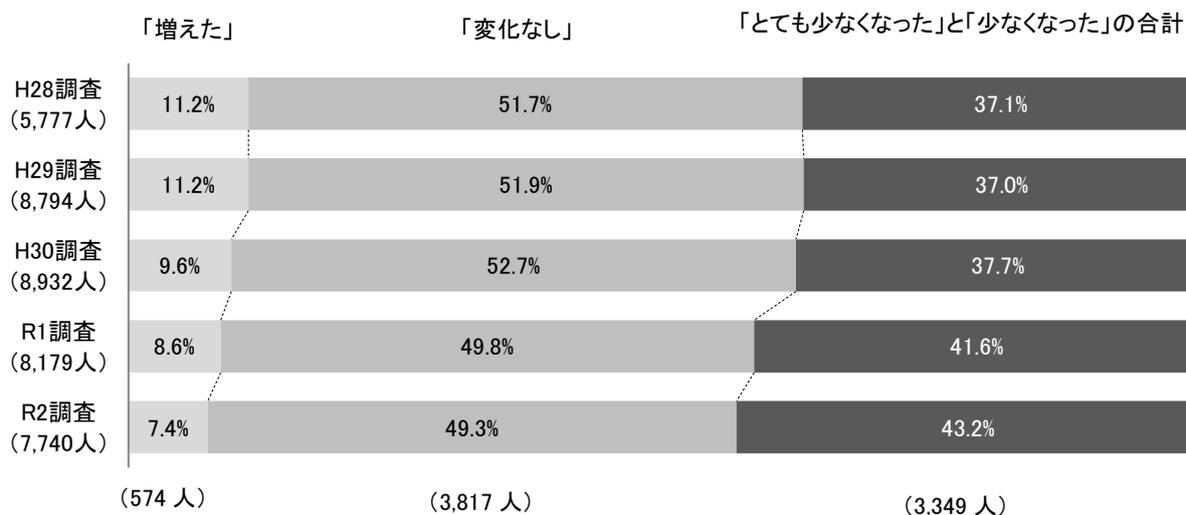
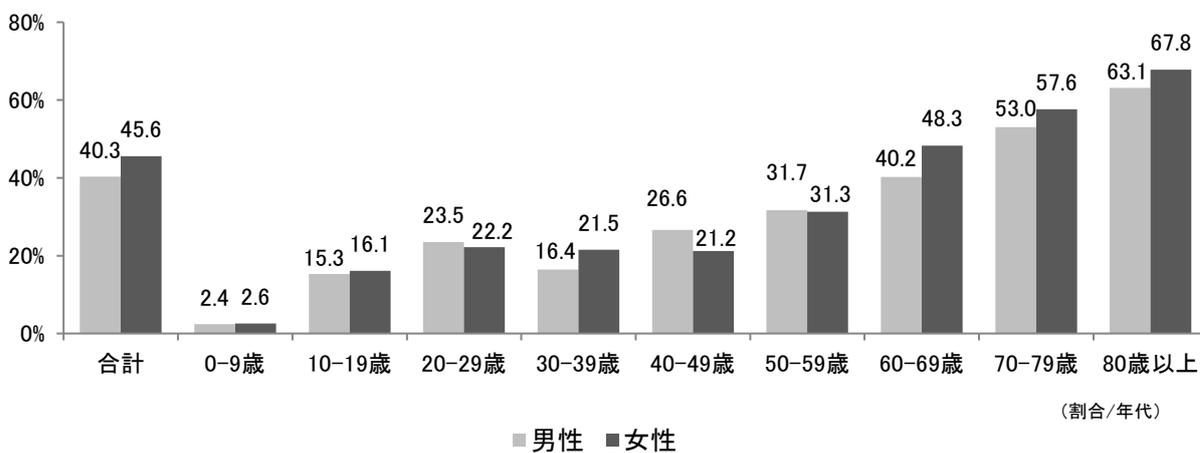


図12-2 「とても少なくなった」と「少なくなった」の合計の割合(性別、年代別)



1 3 行事への参加状況

地域との交流行事に「参加している」と回答した人は 38.0%である。男女別では女性で高くなっている。

図13-1 行事への参加(年度別)

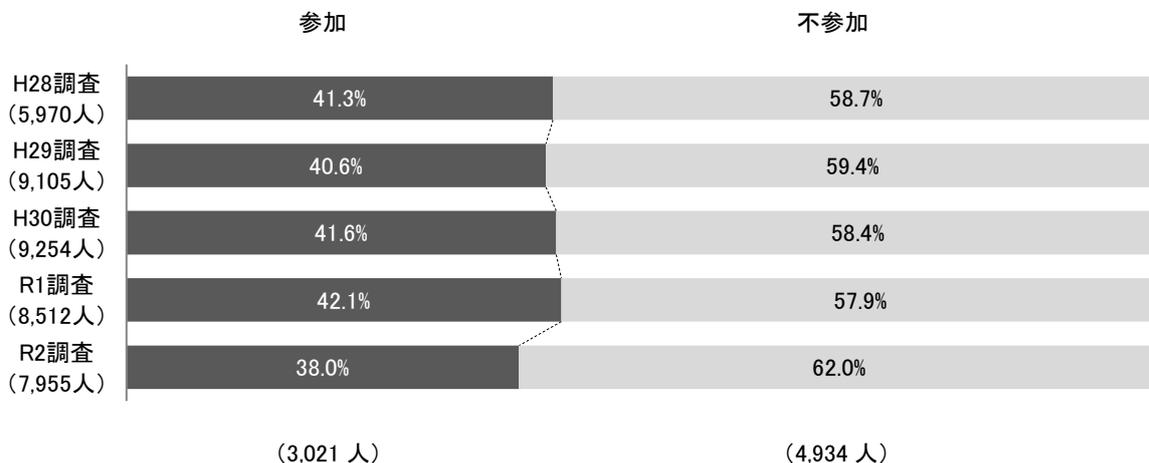
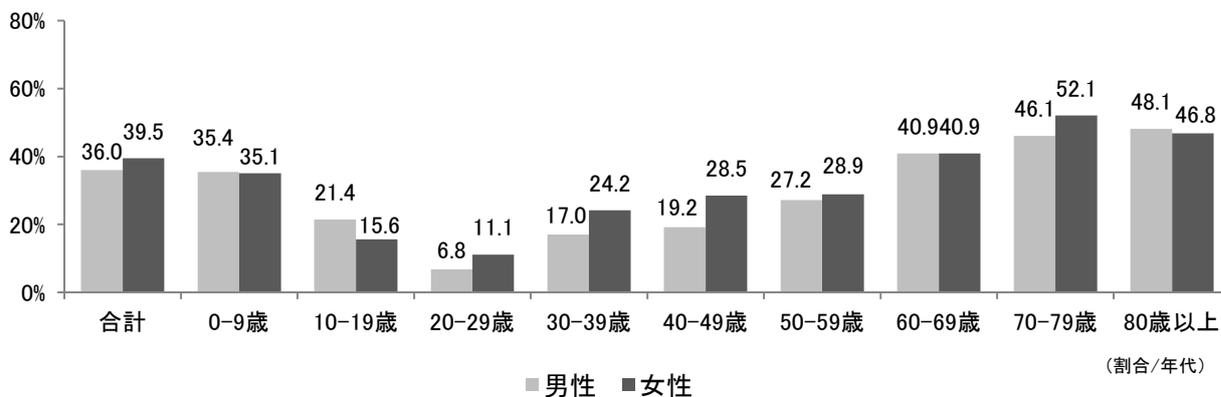


図13-2 参加している人の割合(性別, 年代別)



1 4 要介護認定の状況

65歳以上に占める要介護・要支援認定者の割合は17.5%である。また、認定者のうち、サービスを利用している人の割合は、69.0%である。

表14 要介護認定の状況

	H28調査		H29調査		H30調査		R1調査		R2調査			
	認定者	サービス利用	認定者	サービス利用	認定者	サービス利用	認定者	サービス利用	認定者		サービス利用	
	割合※1 (3,133人)	割合※2	割合※1 (4,985人)	割合※2	割合※1 (5,277人)	割合※2	割合※1 (5,019人)	割合※2	割合※1 (4,607人)	人数	割合※2	人数
要支援1	6.4%	50.7%	5.2%	59.1%	5.6%	55.4%	5.5%	55.8%	6.1%	281	53.0%	149
要支援2	3.8%	61.0%	3.5%	69.5%	3.3%	74.4%	3.7%	71.8%	4.0%	184	67.4%	124
要介護1	2.4%	78.4%	2.5%	77.8%	2.2%	75.4%	2.0%	79.8%	2.1%	98	80.6%	79
要介護2	2.0%	79.4%	1.9%	84.0%	2.0%	83.2%	2.1%	82.1%	2.1%	95	84.2%	80
要介護3	1.4%	84.1%	1.2%	90.0%	1.2%	79.7%	1.4%	84.7%	1.5%	69	81.2%	56
要介護4	0.9%	65.5%	1.0%	80.0%	1.1%	83.3%	1.0%	86.3%	1.1%	50	84.0%	42
要介護5	0.9%	70.4%	0.6%	87.1%	0.6%	86.7%	0.6%	86.7%	0.6%	29	89.7%	26
合計	17.7%	64.2%	15.9%	72.1%	16.0%	70.5%	16.3%	71.3%	17.5%	806	69.0%	556

※1 65歳以上の高齢者数に占める割合。

※2 要介護・要支援認定者数に占める割合。

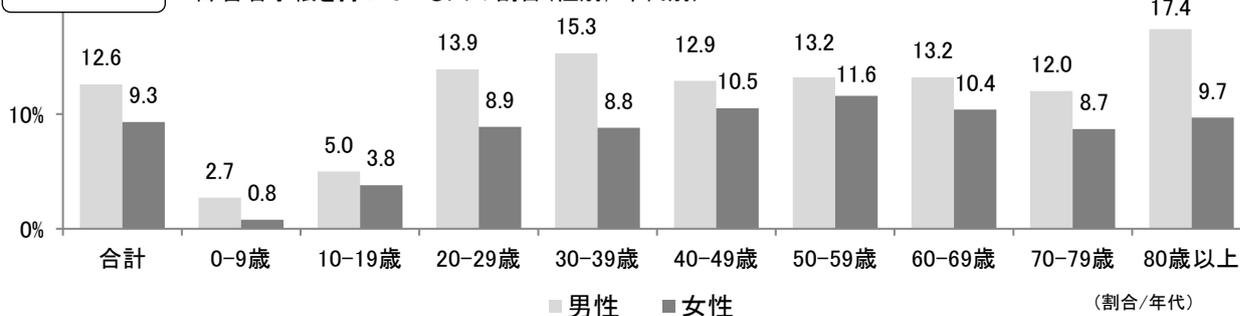
1 5 障害者手帳の有無

障害者手帳を持っている人の割合は10.7%である。

表15 障害者手帳の状況

	H28調査	H29調査	H30調査	R1調査	R2調査	
	割合※4 (6,270人)	割合※4 (9,565人)	割合※4 (9,772人)	割合※4 (8,926人)	人数※3	割合※4 (8,292人)
手帳あり	11.0%	10.0%	10.0%	10.2%	889	10.7%
身体	7.9%	7.1%	6.9%	7.1%	617	7.4%
療育	1.3%	1.3%	1.4%	1.3%	120	1.4%
精神	2.2%	2.1%	2.2%	2.3%	193	2.3%

図15 障害者手帳を持っている人の割合(性別、年代別)



※3 複数の手帳を所持している人や種別を記載していない人がいるため、合計は一致しない。

※4 有効回答数に占める割合。

16 前回に引き続き回答があった方の状況

今回調査の回答者 8,292 人のうち、令和元年度に実施した災害公営住宅入居者健康調査でも回答していた方は 5,557 人(67%)である。

これらの 5,557 人について、両調査における回答状況を比較すると、身体を動かす機会が減った人は 4.4 ポイント高い。



(1) 回答者の性別・年齢構成

(人)

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	合計	65歳以上〔再掲〕
男性	77	111	71	118	221	263	522	737	328	2,448	1,394
女性	59	103	86	151	247	354	637	905	567	3,109	1,867
合計	136	214	157	269	468	617	1,159	1,642	895	5,557	3,261
(割合)	(2.4%)	(3.9%)	(2.8%)	(4.8%)	(8.4%)	(11.1%)	(20.9%)	(29.5%)	(16.1%)	(100.0%)	(58.7%)

(2) 回答の状況

項目	選択肢	回答人数(割合※1)		増減
		R2調査	R1調査	
体調	「とても悪い」+「あまり良くない」	1,126 (20.3%)	1,131 (20.4%)	▲ 5 (▲0.1)
疾病の状況	「病気がある」	3,475 (62.5%)	3,385 (60.9%)	90 (1.6)
心の問題	K6が13点以上※2	347 (7.1%)	358 (7.5%)	▲ 11 (▲0.4)
不眠の状況	「眠れない」	853 (15.4%)	879 (15.8%)	▲ 26 (▲0.4)
飲酒の状況	「朝又は昼から飲酒することがある」	120 (2.2%)	115 (2.1%)	5 (0.1)
食欲の状況	「食欲がない」	115 (2.1%)	162 (2.9%)	▲ 47 (▲0.8)
相談相手の有無	「いない」	1,022 (18.4%)	1,031 (18.6%)	▲ 9 (▲0.2)
体を動かす機会の変化	「とても少なくなった」+「少なくなった」	2,317 (41.7%)	2,074 (37.3%)	243 (4.4)

※1 R2年調査・R1年調査ともに、前回に引き続き回答があった人(5,557人)に占める割合(心の問題※2を除く)。

※2 K6について有効な回答をした18歳以上の人に占める割合。

17 令和2年度災害公営住宅入居者健康調査結果(市町別の主な項目)

住民登録市町	回収世帯数 【A】	調査人数 【B】※1	独居高齢者世帯 【C】(C/A)	治療中断 【D】(※2)	K6 13点以上の人 【E】(※3)	朝又は昼から飲酒する ことがある人 【F】(F/B)
仙台市	1,586	2,652	516 (32.5%)	75 (4.6%)	186 (8.2%)	74 (2.8%)
石巻市	2,692	4,295	961 (35.7%)	108 (4.1%)	270 (7.3%)	81 (1.9%)
塩竈市	142	220	50 (35.2%)	6 (4.6%)	17 (9.0%)	8 (3.6%)
岩沼市	73	130	14 (19.2%)	6 (6.7%)	13 (12.0%)	4 (3.1%)
東松島市	558	995	165 (29.6%)	11 (2.3%)	41 (5.1%)	24 (2.4%)
合計	5,051	8,292	1,706 (33.8%)	206 (4.2%)	527 (7.5%)	191 (2.3%)

参 考	R1調査	5,769	8,926	1,988 (34.5%)	197 (3.8%)	572 (8.0%)	185 (2.2%)
	H30調査	5,813	9,772	1,890 (32.5%)	220 (3.8%)	638 (8.0%)	218 (2.2%)
	H29調査	5,677	9,565	1,676 (29.5%)	239 (4.3%)	659 (8.4%)	218 (2.3%)
	H28調査	3,635	6,270	1,039 (28.6%)	125 (3.5%)	381 (7.5%)	152 (2.4%)
	H27調査	3,031	5,749	746 (24.6%)	109 (3.5%)	381 (8.6%)	155 (2.7%)

※1 性別及び年齢について有効な回答をした人の数。

※2 「現在病気になる」と回答した人の数に占める割合。

※3 K6について有効な回答をした18歳以上の人の数に占める割合。

Ⅲ (参考) 調査票様式

整理番号

* こちらには記入しないでください。

御家族が4人以上の場合には、調査票をもう1枚ご使用ください。

令和2年度 健康と生活に関する調査票

- * この調査は、宮城県と市町村が、東日本大震災で被災された皆様を対象に年に1回、定期的実施しているものです。調査結果は、健康相談や生活再建に関する支援等を実施し、より充実した体制を整備するための資料とすることとしています。
- * 御回答いただいた内容は、目的以外に使用することはありません。ただし、上記目的のため、調査結果を、いまお住まいの市や住民票のある市町村に提供させていただきますので御了承ください。
- * また、内容について県や市の保健師等が御連絡(電話・訪問等)をさせていただきます場合もありますので、よろしくお願ひします。

記入年月日

令和 年 月 日

4人以上同居している場合には、
2枚目を使用してください。

1. 世帯の状況を下記に記載願ひます。

フリガナ				この住宅に住んでいる人数	人
世帯主氏名					
復興公営住宅	市名				
	住宅名	部屋番号			
	電話番号	* 世帯主の方、世帯の状況がよく分かる方、日中に連絡がとれる方等の番号を記載願ひます。			
	①	—	—	(携帯電話の場合の持ち主:)	
	②	—	—	(携帯電話の場合の持ち主:)	
	③	—	—	(携帯電話の場合の持ち主:)	
被災したときの住所		県	市・町・村	区	

住民票はどちらにありますか。県名、市町村名を下記に記入してください。

県・市町村名	県	市・町・村	区
--------	---	-------	---

復興公営住宅の入居に当たり、一緒にお住まいの方が変わりましたか。どちらかに○をつけてください。

同居している方の変化	変わった	・	変わっていない
------------	------	---	---------

宮城県・市

調査への御協力ありがとうございました。再度、記入漏れがないかご確認ください。

2. 世帯員(御家族)全員の状況についてお聞かせください。下記1から14までの質問について当てはまる番号に○をつけてください。記入欄があるものは記入してください。

1 氏名(性別)・生年月日(年齢)		2 世帯主・世帯主からみた続柄	3 職業	4 過去1年間に健診(学校、職場、市町村等で実施する健診)を受けましたか。	5 体調はいかがですか。
フリガナ		①世帯主	①会社員	①受けた	①大変よい
氏名		②配偶者	⑥漁業	②受けていない	②まあよい
性別	①男性 ②女性	③子	⑦主婦	③分からない	③あまり良くない
生年月日	大正・昭和・平成・令和____年 ____月____日	④子の配偶者	⑧学生	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 19歳以上の方がお答えください。 </div>	④とても悪い
年齢	満____歳(11月1日現在)	⑤孫	⑨無職		
保険の種類	①国民健康保険 ②社会保険 ③後期高齢者医療保険 ④その他()	⑥父母	⑩その他()		
		⑦その他			
6 病気はありますか。 ①ある ②ない → 7にお進みください。		7 こころの問題についてお聞きます。 過去30日間に、どれくらいの頻度で下記のことがありましたか。全ての項目のあてはまる場所に○をつけてください。			18歳以上の方がお答えください。
「①ある」と回答した方は、病名に○をつけてください。		ない場合は、「全くない」に○をつけてください。			
病名 → ○をつけた病気について、治療の状況に○をつけてください。		項目 \ 頻度			
		全くない			少しだけある
		時々ある			たいていある
		いつもある			
① 糖尿病	治療済・治療中・治療中断	神経過敏に感じる			
② 高血圧	治療済・治療中・治療中断	絶望的だと感じる			
③ がん	治療済・治療中・治療中断	そわそわ、落ち着かなく感じる			
④ 心疾患	治療済・治療中・治療中断	気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れない感じがする			
⑤ 脳血管疾患	治療済・治療中・治療中断	何をするのも骨折りだと感じる			
⑥ 呼吸器疾患	治療済・治療中・治療中断				
⑦ 精神疾患	治療済・治療中・治療中断				
⑧ 透析	治療済・治療中・治療中断				
⑨ その他()	治療済・治療中・治療中断				
「治療中断」されている場合、その主な理由は何ですか。		自分は価値のない人間だと思う			
① 主治医の指示 ② 自己判断 ③ その他()					
8 現在の状況について、①～⑤に当てはまるものがある場合には、番号に○をつけてください。体重の増減があった場合には、その量についても記載してください。		9 次のような飲酒の習慣はありますか。(当てはまる全てに○をつけてください)	10 現在の住宅への転居前に比べて、日頃の生活で身体を動かす機会はどうか。	11 自治会や集会所で開催される行事への参加等、地域との交流の場へ参加していますか。	12 介護保険の認定を受けていますか。受けている場合、サービスを利用していますか。
①眠れない		①朝または昼から飲酒することがある	①とても少なくなった	①参加している	①いいえ
②何かのきっかけで、災害を思い出して気持ちが動揺することがある		②週4日以上かつ1日3合以上飲酒する	②少なくなった	②参加していない	②要支援1
③食欲がない		* 3合目安: 以下のいずれか。清酒3合、ビール中瓶500ml×3本、焼酎(25度)330ml、ワイン100ml×6杯	③変化なし(もともと少なかった)		③要支援2
④1年前に比べて、体重が減少した()kg減			④変化なし(よく動いている)	12 悩みなどを相談できる相手がいますか。	④要介護1
* 健康のために意識的に減らした場合は除く			⑤増えた	①いる	⑤要介護2
⑤1年前に比べて、体重が増加した()kg増				②いない	⑥要介護3
* 成長期による体重の増加は除く					⑦要介護4
					⑧要介護5
					* サービス利用の有無
					* サービス利用の有無
					①有り
					②無し

調査への御協力ありがとうございました。再度、記入漏れがないかご確認ください。ご家族がおられる方はご家族へお渡しいただき、次のページへの記入をお願いします。